

【取組内容2】 動画教材を活用した情報モラルの指導

文部科学省の動画教材を使って、全校一斉で情報モラル指導（情報の記録性、公開性の重大さ）を行った。

①動画を視聴する

文部科学省の情報モラル動画教材を視聴する。
教材8「情報の記録性、公開性の重大さ」導入編1、3（2'33）
リンク先URL <https://youtu.be/3GdcxuK8TIE>

3年2組



3年1組



③グループで共有する

個別に考えたことを3～4人のグループで意見交流する。



②個別で考える

動画教材を見て、誰にどんな影響が考えられるか各自で考える。（スプレッドシートで共有）

年組番号	誰にどんな影響が考えられるか	
9101	まさや みなみ あやの ゆき	言いふらしたらあとで後悔しそう。 言いふらされたら困る。 止めなかったから責任がある。 肖像権の侵害

④振り返りをする

今後情報発信の際に気を付けていきたいことを考える。

情報を発信するときに気を付けること

写真は安易に投稿しない。投稿するときには、許可を取る。そこまで多くの人が投稿を見ないから大丈夫だろうという意識を捨てる。先のことを考える。

動画教材を活用することで、リモートで全校生徒に同時に指導することができた。また、対話的な活動を通して、情報発信はさまざまな面での影響を考えた上で行おうという実践意欲が身に付いた。今後も計画的に情報モラルについて考える機会を作ることで、生徒の意識を高めたい。